

ビワ生育情報

千葉県
平成29年4月号

平成29年3月の気象

平成29年3月の半旬別の気象は表1に示した。平均気温は第1半旬を除く5半旬で平年を下回った。月平均気温は8.1℃で、平年より1.1℃、前年より1.7℃低かった。

氷点下を記録した日は第1及び第2半旬でみられた。月合計は2日で、平年より約1日少なく、前年並みであった。最低極温は第3及び第5半旬を除く4半旬で平年を下回り、ビワ幼果が寒害を受ける-3℃以下を記録した日はなかった。

降水量は第6半旬を除く5半旬で平年より少なかった。月合計は148mmで、平年の80%、前年の90%であった。

日照時間は第3及び第6半旬を除く4半旬で平年と同じか上回った。月合計は173時間で、平年の110%、前年の116%であった。

表1 平成29年3月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃) ^{※1}		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	7.9	7.7	8.2	1	0.7	2	-0.9	0.3	-1.4
2	7.5	8.1	12.0	1	0.8	0	-0.4	0.1	3.4
3	7.5	8.9	5.7	0	0.6	0	1.6	0.8	1.1
4	9.2	9.6	12.5	0	0.2	0	0.1	2.0	2.3
5	8.6	10.0	9.1	0	0.2	0	3.0	2.6	2.2
6	8.1	10.5	11.3	0	0.2	0	0.9	2.4	3.6
平均/計/最低値	8.1	9.2	9.8	2	2.8	2	-0.9	-1.1 ^{※2}	-1.4

※1：各半旬又は3月中に記録した最低気温

※2：3月中に記録した最低極温の30年間平均値

半旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	23	24	1	26	26	44
2	14	22	69	34	27	10
3	1	29	49	14	26	15
4	1	22	37	45	25	23
5	30	48	3	25	24	21
6	80	41	6	29	30	35
合計	148	186	165	173	157	149

※3：平年値の算出方法を気象庁と同様に変更したので、前年の4月号の平年値より大きく変動しているところがある。

5月の作業（果実の発育は次ページ）

ビワの袋かけも終わり、展葉の終わった新葉は濃緑色になり、果実は成熟期を迎える。本年は果実の生育が遅れているため、早生品種の収穫は5月下旬頃から始まり、収穫の最盛期は6月上旬と予想される。

収穫

早いところでは早生品種の収穫が5月の下旬頃から始まるので、収穫前にモノレールや索道、道路を整備するとともに園内の草を払っておき、収穫道具や出荷用資材を揃えておく。1樹の収穫は2～3回に分けて完熟果実を収穫するが、特に1回目の収穫では未熟果が混入しないように果皮色をよく確認して収穫する。

台木の養成

ビワの苗木は、生産しているところが少ないので、自家生産に取り組む。収穫した果実から種子を採り、種まきして、台木用の実生苗を確保しておく。「楠」の実生は、播種後の生長が早く、根張りが良いので、台木に適している。台木は播種後2、3年間養成して、幹が直径1.5cm程度の太さになったものを用いる。実生苗は、降雨によってごま色斑点病が伝搬し枯死するので、ビニールで屋根掛けして雨水を遮断する必要がある。

果実の発育

4月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は「楠」が1.37cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ1.37cm、1.43cmであった。3品種共に平年より9～14%小さく、生育が早かった前年と比べると、3品種共に20～24%小さかった。

縦径は「楠」が1.91cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ1.86cm、2.01cmであった。「楠」及び「大房」は平年より4～5%小さく、「田中」は2%大きかった。生育が早かった前年と比べると、3品種共に8～14%小さかった。

果形指数は「楠」が0.72、「大房」及び「田中」は3地区の平均でみるとそれぞれ0.74、0.71であった。本年の果形指数は平年より小さく、縦長の傾向である。

4月時点の果実の発育は、3品種共に平年より遅いため、収穫期も遅いと予想される。本年は着花房率がやや高かったが、寒害を被った幼果が多かったため、着果量は平年並みからやや少ない。過着果による樹勢の衰えがみられた場合は、予備枝を作るため、果房数を3～4割減らすように整理する。

クワゴマダラヒトリの発生は平年よりやや少なく、果実の被害程度も平年よりやや少ない。果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で中発生年と同様の傾向を示すため、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、4月以降ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組めるように準備を進める。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（4月1日の果径）

品 種	調査地	横径 (cm)			縦径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	1.37	1.59	1.71	1.91	1.98	2.07	0.72	0.80	0.83
	青 木	1.31	1.60	1.65	1.78	1.98	2.10	0.74	0.80	0.79
	大 房	1.47	1.65	1.82	1.94	2.06	2.19	0.76	0.80	0.83
	暖地園研	1.33	1.51	1.89	1.85	1.91	2.18	0.72	0.79	0.87
	平 均	1.37	1.57	1.79	1.86	1.96	2.16	0.74	0.80	0.83
田 中	青 木	1.34	1.59	1.81	1.92	2.00	2.24	0.70	0.80	0.81
	大 房	1.48	1.56	1.88	2.11	2.03	2.39	0.70	0.76	0.79
	暖地園研	1.48	1.53	1.80	1.99	1.96	2.19	0.74	0.78	0.82
	平 均	1.43	1.56	1.83	2.01	1.98	2.27	0.71	0.78	0.81

果形指数：横径／縦径

平年：昭和62年～平成28年の30年間の平均。

南無谷は平成10年～平成28年の18年間の平均。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>